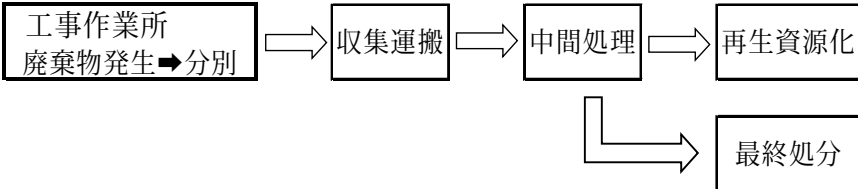
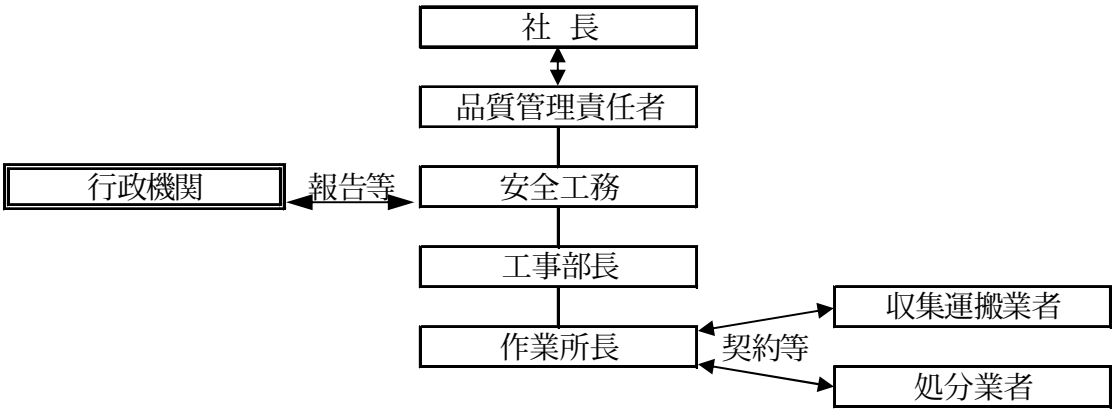


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 30 日	
神戸市長様	
提出者 住所 神戸市垂水区南多聞台3丁目6番27号 氏名 株式会社 神 盟 代表取締役 北川 久晃 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 078-784-0035	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	28JS000291 株式会社 神 盟
事業場の所在地	神戸市垂水区南多聞台3丁目6番27号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0611 一般土木建築工事業
②事業の規模	1,309,883千円(令和5年度完成工事高)
③従業員数	28人(令和6年3月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事作業所にて分別し、廃棄物の品目ごと適応している収集運搬業者および処分業者と委託契約して処理を行う 

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) ・ 分別し収集運搬業者にて搬出 ・ 混合廃棄物での搬出を抑制	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状のとおり継続	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ がれき、廃プラ、ガラス陶器、汚泥、木屑、鉄屑などを分別し混合廃棄物での搬出を抑制している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 引続き分別の実施に取組み、混合廃棄物を軽減する。	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特別な廃棄物、または顧客の特別な要求がない限り再資源化を実施している処理業者との委託契約を基本としている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・需要に伴い従来どおり対応する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

○ 現状 前年度 (令和5年度) 実績

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

種別	0200 汚泥	0600 廃プラ	0800 木くず	0910 繊維くず	1300 ガラス陶器	1400 鉱さい
排出量	18	1.2	48.3	0.0	23.9	714.6

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

全処理委託量	18	1.2	48.3	0.0	23.9	714.6
優良認定処理業者 への委託	0	0	0	0	0	0
再生利用業者 への委託	18	1.2	48.3	0.0	23.9	714.6
認定熱回収業者 への委託	0	0	0	0	0	0
上記以外で熱回収 を行う業者への委託	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

種別	1500 がれき類	2010 混合(安定)	2020 混合(管理)	2430 石綿含有	2500 水銀 使用製品	(t) 合計
排出量	3637.2	0	26.4	0.2	0.01	4469.7

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

全処理委託量	3637.2	0	26.4	0.2	0.01	4469.7
優良認定処理業者 への委託	0	0	0	0	0	0
再生利用業者 への委託	3637.2	0	26.4	0.2	0.01	4469.7
認定熱回収業者 への委託	0	0	0	0	0	0
上記以外で熱回収 を行う業者への委託	0	0	0	0	0	0

○ 計画

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

種別	0200 汚泥	0600 廃プラ	0800 木くず	0910 繊維くず	1300 ガラス陶器	1400 鉱さい
排出量	16	1.1	43.5	0.0	21.5	643.1

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

全処理委託量	16	1.1	43.5	0.0	21.5	643.1
優良認定処理業者 への委託	0	0	0	0	0	0
再生利用業者 への委託	16	1.1	43.5	0.0	21.5	643.1
認定熱回収業者 への委託	0	0	0	0	0	0
上記以外で熱回収 を行う業者への委託	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

種別	1500 がれき類	2010 混合(安定)	2020 混合(管理)	2440 石綿含有	2522 水銀 使用製品	(t) 合計
排出量	3273.5	0	23.7	0.2	0.01	4022.7

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

全処理委託量	3273.5	0	23.7	0.2	0.01	4022.7
優良認定処理業者 への委託	0	0	0	0	0	0
再生利用業者 への委託	3273.5	0	23.7	0.2	0.01	4022.7
認定熱回収業者 への委託	0	0	0	0	0	0
上記以外で熱回収 を行う業者への委託	0	0	0	0	0	0